



野底小学校だより

野小っ子

〔連絡先〕

住所：石垣市字野底138番地
TEL：0980-89-2144
FAX：0980-89-2079
Email:nosoko-s@ishigaki.ed.jp



令和6年9月号



「成長とは今の自分を超越すること」 今までの自分を超越することはすごいこと！

「比較対象は今までの自分。今までの自分よりも少しでも成長することが大切。」

多くの著名人の方々が、自分の成長を人と比べることなくこれまでの自分を超越する努力を繰り返す大切さを伝えてくれています。今年開催されたパリオリンピックでもアスリートへのインタビューの中で、メダルを手にした選手、惜しくもメダルを手になかった選手どちらも「自己新記録」を達成した喜びの声や、金メダルを手にした選手でも自己記録を更新できなかった悔しさを語る選手の声を聞きました。

「どんなにすごい人でも、今までの自分を少し超えるということも多く積み重ねているんですね。」元アスリート解説者のとても印象的な言葉です。

世の中には、相手に勝つことが重要なこと（プロの世界）もありますが、子供たちには、それ以上に今までの自分よりも少しでも成長することのほうが重要であると思っています。つまり、比較対象を常に今までの自分に置いておき、それを超えることを目指すことが重要だと考えています。

さて、2学期（計画では、81日間の長い学期）がスタートしました。私たち教職員も児童一人一人の目標達成・夢実現に向けて、「努力の階段」を登る子供たちをどのように支援していくか、個々にあった支援を試行錯誤しながら日々の教育にあたっていきます。引き続き、保護者、地域の皆様と共に子供たちの成長を支えていただきたいと思います。ご理解とご協力を宜しくお願いします。



9月生活目標

○時間を守って生活しよう

時間を守ることは、人を大切にすること

「時間を守る」ことは、「あいさつをする」ことと同じように、大人になってからもずっと大切な約束です。

友達が時間をきちんと守ってくれると、一緒に過ごす時間と自分のことを大切にしてくれているのだなと思います。「時間を守る」ということは、集団行動・集団生活において大切になってくるとともに、相手から信用してもらえるための大切な約束事だと思います。時間を守ってくれる人は、約束も守ってくれるという共通点があるからです。

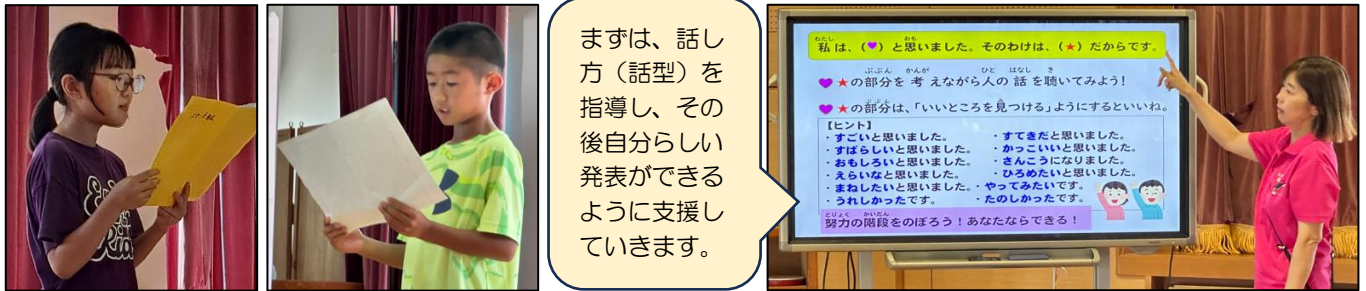
9月の行事

- 3日（火）人権を考える日
- 4日（水）児童朝会 委員会
- 5日（木）夏休み作品展 ～6日
- 6日（金）授業参観（2校時）
校内童話お話し会（3校時）
- 10日（火）PTA 評議員会
- 11日（水）スピーチ朝会 クラブ
- 12日（木）お天気教室（伊野田小にて）
- 16日（月）敬老の日
- 17日（火）運動会練習開始
- 23日（月）秋分の日 振替休

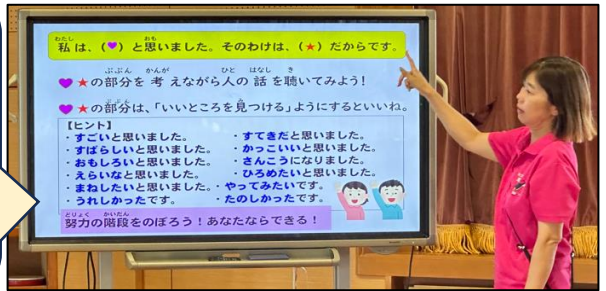
【7月下旬 野小っ子学びの姿】

7月17日（水）スピーチ朝会の発表の様子：今回は児童2名のスピーチがありました。二人とも努力による成果（成長）、指導者への感謝の気持ちが文章に表現されていました。

また、スピーチを聴く児童には、考えながらスピーチを聴いて、自分の考えや思いを感想発表の際にどう発表するかも指導も行っています。2学期は、もっと多くの児童が自ら手を挙げて感想が言えるように支援していきます。各家庭でも励ましてあげてください。《裏面に続く》



まずは、話し方（話型）を指導し、その後自分らしい発表ができるように支援していきます。



「そろばんで身についた大切なこと」 6年 高原 舞輝

私がそろばん教室に通い始めたのは、小学校2年生の時でした。最初は、そろばんの珠をうごかすのが難しく、指が思うように動かずに苦労しました。でも、先生が優しく教えてくれたり、家でもコツコツ練習したりと少しずつ上達していくのが楽しかったです。

私は、週に7回行って教室に入ると、そろばんの音が響いていて、みんなが一息懸命に練習している様子が伝わってきました。先生はいつも笑顔で迎えてくれて、私たちが質問すると丁寧に答えてくれました。

そろばん教室では、計算のスピードを競う「そろばん大会」もありました。初めて大会に出たときは、とても緊張しましたが、友達や先生が応援してくれたおかげで、なんとか最後まで頑張ることができました。結果は二位でしたが、それでも自分の成長を感じることができて、とても嬉しかったです。

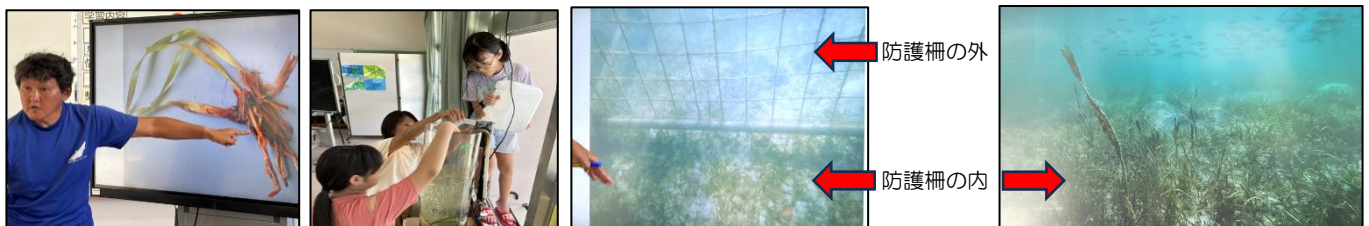
また、そろばん教室ではただ計算を学ぶだけでなく、集中力や忍耐力も養うことができました。難しい問題に挑戦するときは、何度も間違えてしまうこともありましたが、諦めずに取り組むことで、少しずつ解けるようになりました。その経験は、他の勉強や日常生活にも役立っています。

そろばん教室での一番の思い出は、友達と一緒に過ごした時間です。休憩時には、みんなでおしゃべりをしたり、楽しいひとときを過ごしたりしました。友達と一緒に学ぶことで、お互いに励まし合いながら成長することができました。

そろばん教室で学んだことは、これからの人生にも大いに役立つと思います。計算のスキルだけでなく、集中力や忍耐力、そして友達との絆を深めることができたことは、私にとって大きな財産です。これからも、そろばんで学んだことを大切に、色々なことに挑戦していきたいと思います。

そろばん教室に通って、本当に良かったです。先生や友達に感謝の気持ちでいっぱいです。これからも、そろばんを続けて、もっと上達したいと思います。みなさんもなにか挑戦したいことはありますか。夏休みという長い休みと使って普段の学校生活ではできないようなことに挑戦してみるといいかもしれませんね。

総合的な学習の時間で取り組んでいる「ウミショウブ観察」。子供たちは、毎回、海に行くことが難しいため大堀健司さんと則子さんの協力のもと、撮影してきていただいた写真で実態把握をしています。また、月1回教室で育てているウミショウブの水槽清掃と水替えも協力していただいています。



ウミガメ防護柵の中は、ウミショウブとその他の海草が育っていること、そこには魚が多くいることを発見できました。柵の中は、生き物たちの楽園そのもの。ウミショウブの観察と保護を続ける中で、身近な自然の豊かさに気づき、学びのモチベーションも高まっています。



1学期終業式にて、4年生の羽花さんが1学期を振り返っての感想をみんなの前で発表しました。1学期できるようになったこととして、マット運動、逆上がり、バスケットでのシュートについてあげていました。日々の練習と努力の大切さ、達成するぞという「宣言」を続けることでできるようになったこと、これからはなりたい自分にむかって「宣言」し続けることを話してくれました。

自分を振り返ることで、大切な事ややればできる自分に気づいていくことを実感しました。2学期も「自分を振り返る」ことを大切にしていきたいです。